

## 式 辞

冬の寒さが厳しい年ほど、桜の開花は早く、そして一斉に開くと聞きました。本校名物の体育館前の桜並木は、力強い新芽と花びらの絨毯で、皆さんを迎えています。野に山に、春の気が満ち、新たなエネルギーが湧き上がるかのような今日の良き日、奈良県立奈良北高等学校の入学式を挙行いたしましたところ、育友会より尾山副会長様をはじめ、同窓会、後援会、地元自治会、学校評議委員の皆様方に、錦上華を添えていただきました。ご臨席を賜っております皆様方に、高席からではありませんが、心より御礼申し上げます。こうして保護者の皆様方とともに、新入生の皆さんを祝福させていただくことは、教職員一同にとりまして

もこの上ない喜びであります。

さて、ただいま入学を許可いたしました第十四期三百六十名の新入生の皆さん、改めまして奈良県立奈良北高等学校へようこそ、入学おめでとうございます。心より歓迎いたします。多くの皆さんにとっては、おそらく初めての試練であったろう高校受験を見事乗り越えられました。自信を持って、胸を張っていただきたいと思います。それとともに、一年生になることを機会に謙虚に自分を見つめ、そして、これから始まる高校生活への決意を固めていただきたいと思えます。

さて、本校は平成十七年四月に、北大和高等学校三十年と富雄高等学校二十年の伝統を引き継ぎ、新たに理数科と普通科を持つ新進気鋭の県立

高等学校として歩み始めました。本校の校訓は「自律・共生・創造」と定められています。また、校章は、北極星と茶筌を図案化し、中央に北高の文字があしらわれたものとなっています。

ここで入学される皆さんに三つの話をします。

一つめは、高校生としての「学び」を早く身につけていただきたい、ということです。皆さんは、中学校まで熱心に勉学に励まれた人ばかりであるうと思います。今更言われずとも、と思うかも知れません。あるいは高校合格という目標に到達して、もう塾通いともおさらばだと、ほっとしているかも知れません。しかし、私が皆さんに伝えたいのは、高等学校での「学び」についてです。与えられることを待ち、与えられた事をこなすの

ではなく、興味関心を持ち、自ら取り組む学びの  
ことです。もちろん、学ぶと言うことは先達の  
歩みを追体験すること、あるいは基本を身につけ  
る訓練をすることから始まりますから、謙虚さと  
我慢が必要な場面が必ずあると思います。その  
上で高校生として要求されるのは、自分の適性や  
資質を理解し、自らの将来につながる学びを見つ  
け、考え、学び取ることができるようになること  
だと思っています。学ぶ内容もレベルが上がります  
が、取り組む君たちの意識のレベルが上がること  
が最も重要です。指示を持つことから自分で考  
える「学び」への脱皮をお願いします。

君たちは自分では気づいていない可能性をたく  
さん持っています。自分に小さな枠をはめず、可  
能性を開拓して欲しいと思います。自分の成長を

実感するなかで、学ぶ楽しさや喜びを経験して欲しいと切に望みます。

二つめです。「自分を大切にすること意識してください。」「自分を大切にすること意識」とは他者をおとしめて優越感を得ることでも、自分の利益のみを追うことでもありません。心身ともに成長過程にある皆さんが、自分を成長させる為の努力を精一杯することだと思えます。きちんと自分に向き合い、真摯に努力している人は、他者の気持ちを探し、大切にすることが出来ます。また、支えられていることを知り、感謝の気持ちが起こります。自分を大切にすることから始まって、人を大切にできるようになり、仲間と協働するチームの力が生まれます。このような経験を積んで

いくことは、大人として社会へ出るために欠かせないことであると私は思っています。君たちにとって、わかりあい、共に成長できるような一生の友と、ここで出会えることを祈っています。

三つめです。

「不易流行」という言葉をご存じでしょうか。

松尾芭蕉が説いた俳諧の理念の一つで、普遍的本質的なものを忘れず、その中に新しい、変化を取り入れていくこと、諸説あるようですが、そのよきな意味でよく使われます。芭蕉の生きていた江戸時代においても価値観や文化の変化に戸惑う事があったのかも知れません。

本質と変化というのは、いつも大きな命題です。特に現代は、変化の大きき早さが、まさしく加速

度的であります。私が教員になったときには、まだ形もなかったインターネットや携帯電話が今や必需品となり、長い年月をかけて成熟してきた文化を駆逐し、まだまだ未成熟であるという側面を残したまま、大変便利な道具として浸透し大衆化しています。将棋や囲碁の世界でもAIと呼ばれる人工知能が名人を打ち負かすニュースが流れ、人影のない新鋭工場が稼働しています。この新しい文明、変化は、社会や産業構造の変化を強く促し、これから社会に出る若者に対して身につける能力を新たに要求しています。文科省が定める高等学校指導要領はこのような時代を背景に改訂が予定され、皆さんの学年から大学入試も大きな変化の時を迎えます。

では、若者が身につけるべき本質的な能力は何

かと考えたとき、少なくともそれはコンピュータや人工知能には担えない能力だと思っています。人間らしい能力ともいえるでしょうか、想像すること、美しいものに感動すること、優しい言葉や気遣いで他者を思いやること、自分の気持ちや考えをきちんと伝えることなどなど。このようなことも実は、学びの中から身につける、鍛えるべき大切な能力であります。感性が最もみずみずしい今、君たちに大切にして欲しいと願う普遍的な能力であります。

時代の大きな変化をしっかりと受け止めながら流されて自分らしきを見失うことがないように、勉学に運動にしっかりと励んでください。今日から三年間この奈良北高校で、大きく羽ばたく力を、十分に蓄えていただくことを希望いたします。



終わりになりましたが、保護者の皆様方、本日は誠にめでたうございます。

この機会に一言お願いを申し上げます。受験を乗り切ったことによつて、きつとお子様の成長を実感されることと思いますが、本日をもつて一気に身も心も高校生となれるわけではありません。

また、人生の中でも多感な高校時代は、親からの自立と新しく生まれる人間関係で、心の揺れ幅の大きくなる時期でもあります。ご家庭におかれましては、環境が大きく変わったお子様を、目を離さず、見守っていただきたく思います。

ご家庭で何か気になることがありましたら、遠慮無く担任教員などにご相談ください。本校教職員は、卒業を迎えるその日まで、一丸となつて、

お子様の成長を支えていきたいと考えております。

保護者の皆様方には、本校教育の推進に對しまして、ご理解とご支援ご協力を賜りますようお願いを申しまして、入学式の式辞といたします。

平成三十年四月十日

奈良県立奈良北高等学校長

土 居 正 明